

入善海洋深層水利活用促進支援事業補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、入善町補助金等交付規則（昭和35年入善町規則第2号。以下「規則」という。）第2条及び第3条の規定に基づき、入善海洋深層水利活用促進支援事業補助金（以下「補助金」という。）の交付に関し必要な事項を定めるものとする。

(補助金の交付)

第2条 町長は、入善町における新規産業活動の振興及び深層水のまちのイメージアップを図り、入善海洋深層水ブランドを確立するため、次条に規定する者が行う第4条に規定する事業に要する経費の一部に対し、予算の範囲内において、補助金を交付するものとする。

(補助対象事業者)

第3条 補助金の交付対象者は、富山県内に事業所を置く事業者、若しくは企業又は自主的・主体的に深層水利活用研究に取り組む団体とする。

(補助対象事業)

第4条 補助金の対象事業は、国、県及び町の他の補助金等の交付を受けない事業期間が3年以内のものであって、次の表に掲げる事業に該当すると入善海洋深層水活用審査会が認めるものとする。

補 助 対 象 事 業	
①海洋深層水の利活用による既存商工業・新規産業活動の振興	ア 新たな商品開発・生産
	イ 事業化にむけた調査研究
	ウ 入善町ふるさと納税記念品への登録を伴う商品の改良等
②海洋深層水のまちのイメージアップ推進に係る調査研究及び資料づくり	

(交付の対象経費及び補助率等)

第5条 補助金の交付の対象経費及びこれに対する補助率等は、次の表のとおりとする。

対 象 経 費	補 助 率 等
報償費、旅費、消耗品費、印刷製本費、光熱水費、手数料、通信運搬費、保険料、使用料、賃借料、原材料費、備品（実験機器等）購入費、会議費等 ※備品購入費については総事業費の2分の1以下とする。	【補助率】 補助対象経費の3分の2以内 （千円未満の端数は切り捨て） 【補助限度額】 300千円 【補助対象事業費から控除する特定財源】 事業収入（物品販売代金等）がある場合は、補助対象事業費から除くものとする。

(補助金の交付申請書及び添付書類)

第6条 補助金の交付を受けようとする者は、次の表に掲げる書類を町長に提出しなければならない。

書 類	様 式	部 数
交付申請書 事業実施計画書 事業収支予算書	様式 1 - 1 様式 1 - 2 様式 1 - 3	各 1 部

(交付条件)

第 7 条 規則第 5 条の規定により補助金の交付に付する条件は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 補助対象事業の内容について、次に掲げる変更をする場合は、あらかじめ町長の承認を受けること。

ア 事業主体の変更をすること。

イ 補助事業に要する経費の配分又は補助事業の内容の変更をすること。

ウ 補助事業に要する経費の 20 パーセント以上の変更をすること。

(2) 補助事業を中止し、又は廃止する場合においては、あらかじめ町長の承認を受けること。

(3) 補助事業が予定の期間内に完了しない場合又は当該補助事業の遂行が困難となった場合においては、速やかに町長に報告して、その指示を受けること。

(事業報告書等)

第 8 条 補助事業が完了したときは、速やかに事業報告書等を町長に提出し、承認を受けなければならない。

2 補助事業が複数年度にわたる場合は、各年度末に事業中間報告書等を町長に出し、承認を受けなければならない。

3 第 1 項に掲げる事業報告書等及び前項に掲げる事業中間報告書等の書類の様式は、次のとおりとする。

書 類	様 式	部 数
事業（中間）報告書 事業成果書 事業収支精算書	様式 2 - 1 様式 2 - 2 様式 2 - 3	各 1 部

(補助金の交付の方法)

第 9 条 補助金の交付の方法は、精算払いとする。

2 補助対象事業の事業期間が 1 年を超え 3 年以内のものは、各年度毎に補助金を交付するものとする。

(細則)

第 10 条 この要綱に定めるもののほか補助金の交付に関し必要な事項は、別に町長が定める。

附 則

この要綱は、平成 14 年度分の補助金から適用する。

附 則

この要綱は、令和 7 年 4 月 1 日から施行し、令和 7 年度分の補助金から適用する。

様式 1－1（第 6 条関係）

年 月 日

入善町長 様

申請者 申請団体名

代表者氏名

印

年度入善海洋深層水利活用促進支援事業補助金交付申請書

入善海洋深層水利活用促進支援事業を実施したいので、別添のとおり入善海洋深層水利活用事業実施計画書及び収支予算書を提出します。

入善海洋深層水利活用促進支援事業実施計画書

1 事業申請する区分（番号等に○を付けてください。）

①既存商工業・新規産業活動の振興

ア 新商品等の開発・生産 イ 事業化にむけた調査研究 ウ ふるさと納税記念品登録

②海洋深層水のまちのイメージアップ推進に係る調査研究及び資料づくり

2 事業等の名称

3 事業実施主体の構成等

氏 名	年齢	住 所	所属機関等（職名）

代表者の連絡先

氏 名 _____

住 所 〒 _____

電 話 _____

F A X _____

E-mail _____ @ _____

注）事業所、企業の場合は、事業の概要が分かる資料を添付願います。

4 事業の概要

(1) 背景と目的

(2) 目標達成

(3) 新規性・独創性等

(4) 商品開発・事業化・調査研究等の動向と見通し

5 実施内容

(1) 事業実施期間 年 月 日 ～ 年 月 日

(2) 事業の実施場所

(3) 各年度の実施内容

年 度	概算事業費	実 施 内 容
年度	千円	
年度	千円	
年度	千円	
計	千円	

(4) 年度の実施内容

①実施項目

項 目	具 体 的 内 容

注) 項目の欄には、事業内容の柱ごとに記述をお願いします。

②スケジュール

月 実施項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3

注) 項目の欄には、①に記載した項目について記述願います。

様式 1－3（第 6 条関係）

入善海洋深層水利活用促進支援事業収支予算書

(収入)		(単位：千円)		
区 分	年度	年度	年度	計
合 計				

(支出)		(単位：千円)		
区 分	年度	年度	年度	計
報 償 費				
旅 費				
事務庁費				
資料購入費				
通信運搬費				
調査費				
実験費（備品購入含む）				
消耗品費				
印刷製本費				
原材料費				
合 計				

年度入善海洋深層水利活用促進支援事業収支予算書

(収入)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	算 出 基 礎
合 計		

(支出)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	算 出 基 礎
報 償 費		
旅 費		
事務庁費		
資料購入費		
通信運搬費		
調査費		
実験費（備品購入含む）		
消耗品費		
印刷製本費		
原材料費		
合 計		

様式 2－1（第 8 条 3 関係）

年 月 日

入善町長 様

申請者 申請団体名
代表者氏名 印

年度入善海洋深層水利活用促進支援事業（中間）報告書

年 月 日付け入 第 号で補助交付決定通知のあった事業が完了したので、入善海洋深層水利活用促進支援事業補助金交付要綱第 8 条の規定により、別添のとおり入善海洋深層水利活用事業成果書及び収支精算書を提出します。

年度入善海洋深層水利活用促進支援事業成果書

1 事業等の名称

2 事業実施主体の構成等

氏 名	年 齢	住 所	所属機関等（職名）

代表者の連絡先

氏 名

住 所 〒

電 話

F A X

E-mail @

3 事業成果の概要（中間報告の場合は、見込みを記載）

（１）事業の具体的成果

（２）目標達成度

（３）今後の課題と展望

4 実施内容

（１）事業期間（全体） 年 月 日 ～ 年 月 日

（２）事業の実施場所

（３）事業の全体（変更）計画

年 度	事業費	実 施 内 容
年度	千円 ※確定額	
年度	千円	
年度	千円	
計	千円	

注）複数年度にわたる事業において、事業内容に変更がある場合に記述願います。

(4) 年度の実施内容

①事業の実施期間 年 月 日 ～ 年 月 日

②実施項目

項 目	具 体 的 実 施 内 容

注) 項目の欄には、事業内容の柱ごとに記述をお願いします。

5 添付書類

①事業実施における成果品等

①事業の実施状況写真

様式 2－3（第 8 条 3 関係）

年度入善海洋深層水利活用促進支援事業収支精算書

(収入)		(単位：円)
区 分	決 算 額	明 細
合 計		

(支出)		(単位：円)
区 分	決 算 額	明 細
報 償 費		
旅 費		
事務庁費		
資料購入費		
通信運搬費		
調査費		
実験費（備品購入含む）		
消耗品費		
印刷製本費		
原材料費		
合 計		

※補助対象事業に係る請求書等の写しを添付してください。